（別紙５）

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	児童発達支援　とらちゃん笑南

公表日　　2025年　3月　31日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		設備基準を順守しております。	広さは適切であるが、部屋の形状がすべて見渡せるわけではないため、要所にスタッフを配置しなければならない。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		利用人数に合わせて基準以上の人員を配置しております。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		対応可能な限りのバリアフリーに対応しております。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		清潔で涼たちが過ごしやすい環境と日常の感染症対策を徹底しております。定期的に施設清掃に加え、適切な換気対策の時いずっきりとした空間もかけております。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○			個別の対応が必要な部屋はあるが、その時の活動の内容やスタッフの配置によって対応が完全では無い場合があります。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		常に課題や日指す指針を理解し業務している。日々のミーティングにおいて課題の進捗状況を把握できる機構組をおこなっていま	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		年１回のアンケートや日々の関わり合いにより、業務改善や支援の向上に努めている。	引き続きアンケート結果を真摯に受け止め業務改善をおこなっていきます。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		従業員向けの評価表や面談を設け、日々成長できるように工夫している。	引き続きアンケート結果を真摯に受け止め業務改善をおこなっていきます。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		第三者機関を入れた外部評価はおこなっておりませんが必要に応じて検討していきたいと思います。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		事業所内、法人内で研修の機会を設け職員一人一人のスキルの向上を図っております。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○			ホームページに公表しております。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		利用者や保護者のニーズや願いを考慮し、関係機関との連携を取りながら、支援改革を作成しております。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		職員間でこどもの強みや困り感を正しく把握し、健やかに日常を過ごせる事ができる様、気持ちに寄り添う支援を心がけています。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		支援会議をおこない、支援の方向性は共有されております。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		アセスメント等に使用するものは標準化されたものを使用しております。保護者には連絡ノート、施設ではあらかじめ様式の元事前調査シートを使用し適切でかつ、しっかり把握できる環境を整備しております。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容を踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○			ガイドラインに基づき実施。地域支援についてはもう少し深く検討が必要と感じている。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		５領域を元に、個々の願い様、意見を出し合い２週間単位で週案を作成しております。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		５領域を元に、個々の願い様、意見を出し合い２週間単位で週案を作成しております。	プログラムの検討と、教材等の充実をはかっていく。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		日々のミーティングで担当者やスタッフ間の役割の分担を明白化し子供たちが安心し、前向きな気持ちで活動に取り組める雰囲気にしております。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っている。	○		日々のミーティングで担当者やスタッフ間の役割の分担を明白化し子供たちが安心し、前向きな気持ちで活動に取り組める雰囲気にしております。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		活動の振り返りは毎日おこなっております。支援内容の確認やスタッフの支援スキルの向上の為、話し合う活動を常に設けております	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。			支援記録は毎日書き出し、確認しております。その日数個の職員以外の者もその日の活動や児童の状態が把握できるようにしております。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。			定期に見直しをおこなっております。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		必要に応じて連携を取る体制はできている。	
	26	例行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。		○		個別の対応にとどまっているため、もう少しきめ細かく対応できる機構表していきたい。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○			保護者の希望の元必要に応じておこなっております。
	28	（28～30は、センターのみ回答） 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	（自立支援）協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	（31は、事業所のみ回答） 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。				
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。				
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。				
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。				
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。				
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。				
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。				
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。				
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。		○		活動の内容は定期的に載せているが、より事業所の活動内容を深く知っていただける様ツールを工夫していけるよう検討していく。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		施錠できる棚にて保管し、管理を徹底している。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		法令に準じておこなっている。ブログ等に訓練の様子は掲載しているが周知の面で更なる工夫をしていく。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		法令に準じておこなっている。ブログ等に訓練の様子は掲載しているが周知の面で更なる工夫をしていく。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○			
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		食事の際テーブルを別に対応するなど思いがけ無事故とならない様に対応をしている。	医師の指示書までは取り交わしていない部分がある場合によっては改善を図っていきたい。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、事族等へ周知しているか。	○			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○			
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○			
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明して解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○			